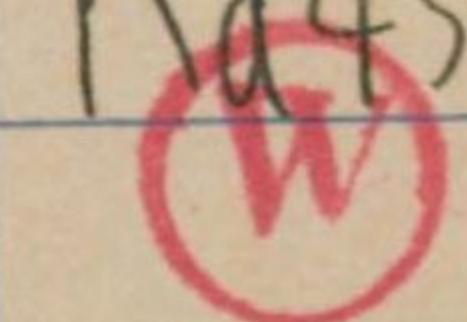


神吉合戦記

全

210.48
Ka455


21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38

39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55



21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

神吉合戦記

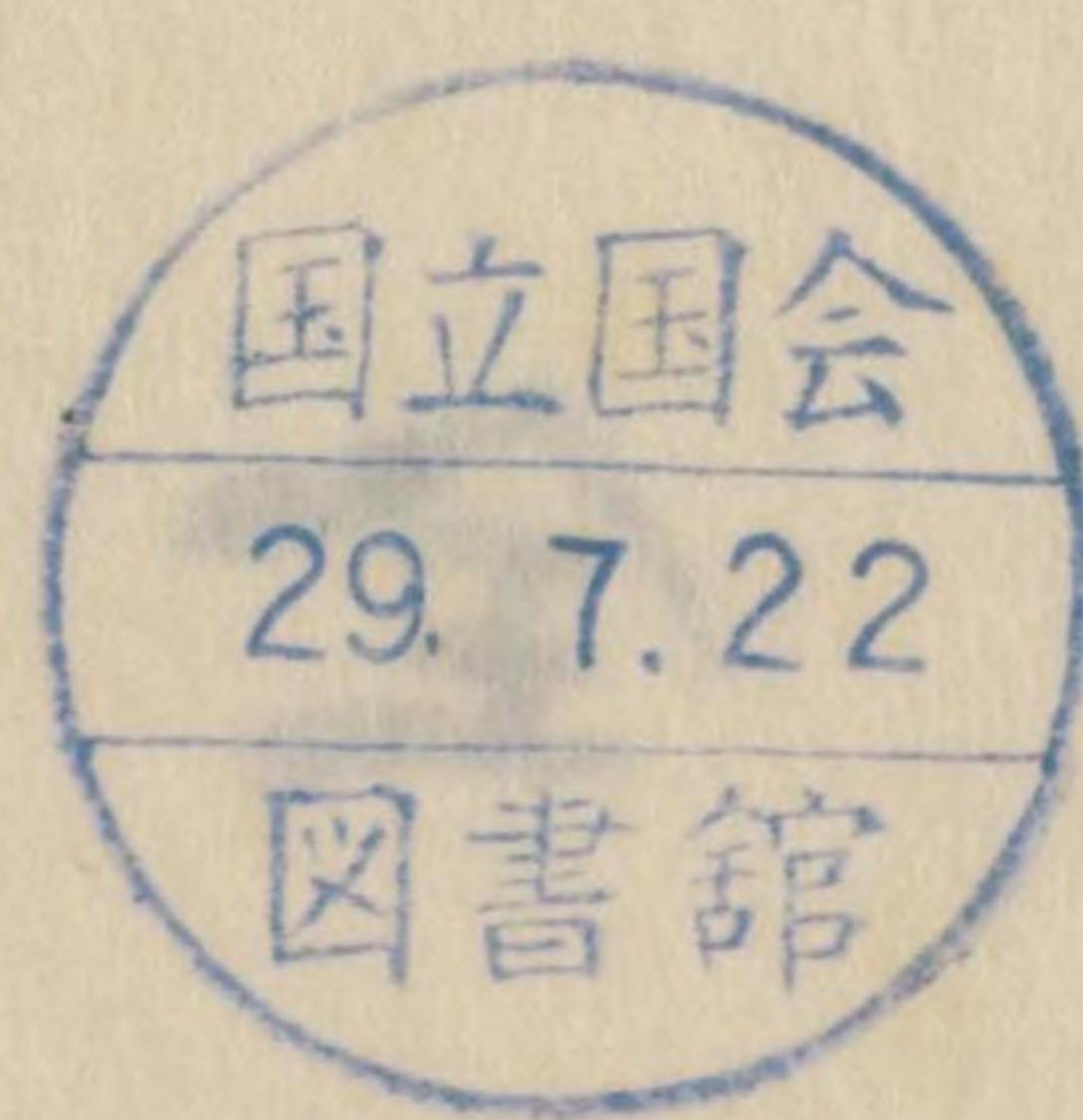
全



21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55

播磨印南郡神吉城主神吉民部大輔頼定合戦之支
京勢加古野口城ニ取掛攻乞間別所小三郎長治毛利右馬頭翫元芳
工兵使ヲ以テ織田信長嫡子秋田城ニ助信忠三万余騎羽柴筑前守秀
吉ヲ先トシテ三木城ヲ攻ヘシト秀吉先ツキ勢斗リニテ三木城要害所
見廻リ野口城ヲソ攻ニケル後陣モ播磨路ニ乱入テソ有リケリ長治所
存ニ程戦ノ次第注進セシメ加勢ヲ乞是ニ依テ小早川左衛門佐隆景
吉川駿河守元春ヲ先トシテ三万余騎備前播磨美作ノ境ニツ石ニ着
暫陣ヲ取ニケル秀吉野口之城ヲ攻落シ加古川加須屋城ニ入ニ軍勢
ノツカレラ休メ一所ニ日數ヲ送リニケリ西國勢三ツ石ニ着ト秀吉是ヲ聞
テ神吉ニ城ヲ踏散シモ利カ加勢ニ氣ヲ失セヨト神吉ニ城ニ押寄ニ方
無尺地螺鐘攻鼓ヲ打テ取カクル三木ヨリ加勢トシテ小寺主馬介柏原治部

210.48
Ka455



336524

21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55

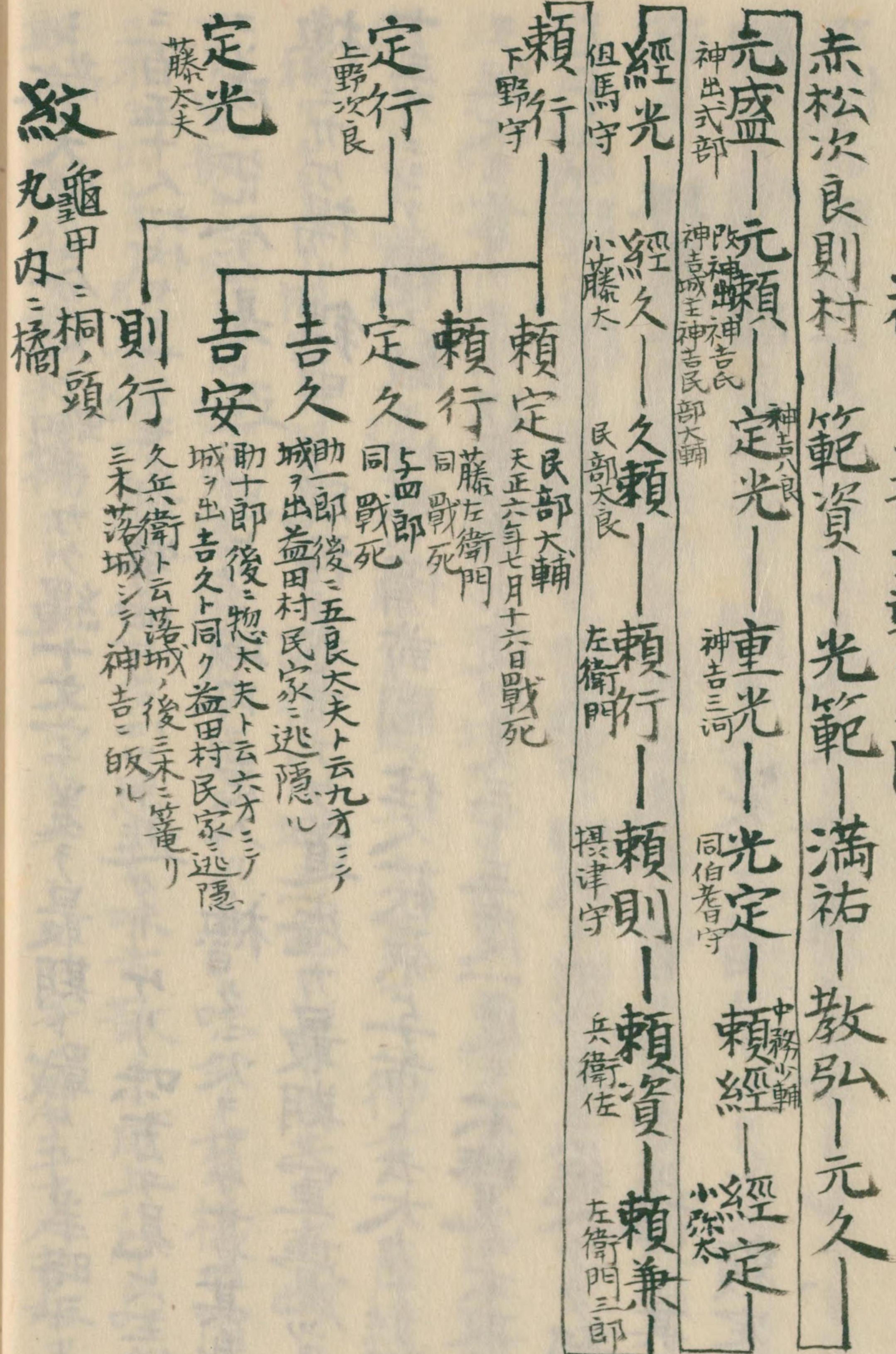
右衛門中村壱岐守長谷川推大夫藤田藤治等ヲ先トシテ數十人指越し
神吉ハ設樂式部少輔有宗備前次良是久妻鹿三良五郎重久室田
与八郎兼右荒井喜太郎氏家吉田喜二郎吉久村井六左衛門宗長
是等者宗徒兵ナリ民部大輔ニ隨心兵九十五人騎馬六百騎足輕千百六十人
都合千八百五十七人敵ト同ク鯨波声ヲ揚乞寄手堀際ニに入ヌ時城内ヨリ
究竟ノ射手數百人鐵炮數百挺射掛打掛ケヤニワニ寄手三百余人討
ニケリ上方勢是ニシヒルニ城内ヲ鐵炮タシ是ヲ防クヨウヤ有ント秀吉下
知シテ足輕ニ仰テ竹木ヲ集把テ押立タ々大キノ木戸ニシ寄タリケリ城中ヨリ二百
騎斗リ我先ニト切テ出寄手百余人討レニケリ大將民部大輔ヨリ寄手大將
信忠公ヘ兵使ヲ以テ申サレケルハ先月十七日ヨリ今ニ至リ毎日相戰ノ間丙
陣共ニ死者數ヲ不知今日ハ七月十五日也戰死者ノタメ又タハ士卒ノ疲勞ヲ休
メ申サンヤト有レハ信忠公秀吉尤ト恩召シ其日ハ軍止ミニケリ同十五日ニ敵陣ヨリ
高樓ヲアゲ風流躍リヲ以テ城中ヲ慰ム是ヲ謝ルニ城中ヨリ味噌三千樽生鮓ニ
十尾ヲ貢ルナリ十五日ノ夜民部大輔藤左衛門頼之ヲレ仰ケルハ弟助一郎助
郎ヲ今夜城ヲ出ヘシト有ケハ頼之貳人ノ幼弟ヲ俱モナイ益田村ノ民家ニ連
行キ其身者城ニ皈リ戰死ス大將民部大輔矢倉戸ヲ開セ其日之出立
者白綾下着ニ印ノ花威ノ鎧イ、白坦磨ノ膝當金作ノ太刀ヲ帶キ三枚兜
童子持セ紅ノ扇ヲ開キ大音アゲ村上源氏末葉當城主神吉民部大輔頼
定別所小三郎長治ニイヤシクモ頼レ當城ニ籠ル寄手ノ大將信忠公ニ見參
イタシ大勢ト花ヤカニ討死セント呼ツテ申ヲ取テ打カツギ櫓ヨリ飛下リ馬引ヨ
セテユラリト乗リ藤左衛門頼之与四郎定久ヲ初メ連兵二百余騎前後
左右ニ隨テ一面モフラズ大勢ニ分ケテ入りモニ合追ツマクツ戰イケル敵三百余騎

討ルレハ味方五十騎ニ成ニケル一息休マント城内ヘシンズト引所ヲ秀吉帶打振テ
敵引退附入ヨト下知ラソシテニケル我モ我モト附ケル賴定馬ヨリひ飛テ下リニ尺
九寸有ケル菊一文字太刀打振テ込入敵中卫一文字ニ走リ入テハナリヘトナイタ
リケリ此勢ニ敵大勢ト雖共左右ニベットソ逃ニケル賴定猶モ名乗リカケ追掛
ケニ猛勢ドットラツ取巻キ討トランセシ所城内ヨリ三百余騎駆出京勢ヲ追
拂ヒ賴定ララツ包ミ城内ニソ入リニケル京勢續ケテ攻ヘリツギニ外構ヲ打破味方
テ丸ノ橋板ヲ引ハナキ行桁ヲ打渡リ残リケル其際ニ六尺余ノ大男昔甲ヲ猪首
ニ着黒革威ミ腹巻ニ貳尺八寸ノ太刀帶ニ尺八寸ノウケカナ文字ニ指儘面
尺余ノ大長刀ヲ打振テ行桁ヲ打渡リ大音アケ鎌倉ノ權五郎景政ニ十五代之
末葉當國住人梶原重右衛門尉入道シテ道庵ト云者ナリニ木城ニ籠リ譽
元當千兵ナリ只今加勢ニ駆來ル近國之者ハ手並ノ程ヲ知ヌラン東國武者
音ニモヤ聞ツシ寄ヨキ並ラ見セントテ和ケル憎キ法師ノ高言ヤ我先ニト討取ラ
ト打テ掛ル道庵物タシャト長刀ニカギセテ先ニ進ミニン武者三騎堀ノ中ヘツ切入
ケル一人ハ深キ負テソ引ニケル今一人引組テ目ヨリ高ク指上テ大地打附押テ首ヲ
引被提テ行桁ヲヒテリノト飛渡リ城内ニソ入ニケル敵モ味方モ同ニツツ
ソ譽言ニケル未トヨミノ其内ニ小寺主馬今柏原治部右衛門中村壹岐守長
谷川權太夫藤田藤次ナト先トシテ數百人行桁ヲ走渡飛越飛越大勢ニ
モニ合爰ヲ最期ト戰ケル軍半ナリケル所ニ賴定同姓家ノ子神吉藤太夫
定光何トカ思ケン我カ一命ヲ助ケ玉ハ民部カ首ヲ取テ渡シ申ヘシト矢文ヲ
以テ通シケレハ信忠子細有間敷ニ条通シテ人皆是ラ不知ソ有ケル藤太
夫民部ニ申ケルハ今日ノ軍ノ歟ヲ見ルニ味方勝利得ガタシ先落玉ヘ申ケ
長治ニ命ヲ掛賴レシ上落人ニナリ何國ニカ身ヲ置ヘキ尤ニ木城ヘ引退キ

長治一所ニト思トモ秀吉軍配ヲ見ニ迎エ味方勝ベシトハ思ワレヌ一刻モ早
キ切腹シテ士卒ノ命ヲ助ケハヤト申サレケレハ藤太夫尤モイミシクモ申サレ
ケルトヤナ然者切腹候卫御首ヲ某シ玉ワリ如何ナル寺ニモ葬リ後世苦
提ヲ吊ヘシト涙ヲ流シ申ケレハ如何様トミ斗イ玉ヘトテサテ三枝道碩ヲ招テ
某口今切腹セシ介錯賴也年來御名染ノ付代ニ御太刀菊一文字ヲソ謹り
玉イテ賴定今年廿九方腹十文字ニ切ケルヲスカサズ御首打落ス近習外
様ニ至マテ皆涙ヲゾ流シケル藤太夫兼テエミシ支ナヒ御首ヲ唐綾肌着
ノ袖ヲキツテ押包ミ裏門ヨリ落行ケル城ニ籠ヒ軍兵共ニ木城ヘ參ルモ
アリ皆散々成ニケル梶原道庵是ヲ見テキタナキ味方ノ有様口惜ケレ某
未ヲ出シヨリ引者坂サシ武士ノヤタケニハ思トモ味方散々成上ハ叶ジ最
期ニ軍シテ名ヲ萬天ニ揚ントソ思ヒケルコソユシケレキ者三十人左右ニ引具
シ敵大勢ニ分ケ入テ蝦手カク繩十文字爰ヲ最期ト戦ケリ半時斗リ萬
三百五十人切伏セテサシモノ都勢四方ミハツト逃タリケリ味方ヲ見ヒ主従三人
ニシ成ニケル今ハ是迄ト思ヒツ城内ニ走入り櫓々火ヲカケサセ其身ハ門
櫓ニカケ揚リ鎧甲ヲ脱捨テ大音アケ道庵力最期ノ軍費見ツニ某
十三才ニシテ親ノ敵ヲ打取ル備前國住人萩原与市ト云大力ナリ功者
ヲ組伏セ首テヨリ以來軍ニ逢ウ度支三十五度一度モ不覺ヲ不取年積
テ七十歳腹切様ヲ見置トテ十文字ニ切破リ炎ノ中エ飞入テ夕部煙ト
消ニテリ松藤太夫定光降人罷出民部ノ首ヲ秀吉正捧ケ其身ハ命
助リテ備前國隱レ行ク聞ク人笑ワス者ソナカリケル賴定之御太
刀備前國菊一文字則定三枝家ニ今ニ傳テ是アリシトゾ

21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55

神吉民部大輔一系圖



此卷母衣裏

錦織 加賀次良高吉

山井源太左衛門綱吉

織井越中三郎

上月 定右衛門永成

天野五郎頼行

小野目上市有景

上田阿波並高則

水の八郎

前田下總丞為利

播磨五良左衛門定久

十河内藏之助家村

車谷丹三郎包久

村上伊織貞家

宇喜田出雲丞任

小寺伊勢次郎勝則

瀬尾彦太郎兼國

赤松源三郎則景

曾根民部次良重行

三木伊織家成

山下源八郎香野

志方馬之助氏武

小枝貞右衛門家久

此卷母衣裏

土岐伊与助宗未

山田玄番頭家氏

河野肥後助秋守

神崎直右衛門宗兼

中村源八郎為宗

中野上兵衛文氏

加古源次郎

藤原伊与次郎

南嶺鹿之允宗則

瀬尾志摩助熙兼

御着牧之允氏行

桐山三郎兼治

駒橋源五郎永房

宇野新平則國

小寺仲之丞勝光

宇野源右衛門家吉

北條備前丞時香

小田切美濃助兼之

八尾伯耆助國香

山本五良左衛門廣兼

明石伊左衛門通家

21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55

清水勘左衛門通久

中根左衛門次良治之

井上彌平太

和田刑部少輔光門

山内刑部左衛門義通

片桐伊勢進良久

朝倉三郎兵衛久兼

栗鹿將監忠房

田代越中助近平

喜田野次郎晴通

渋川下野久成

設樂式部少輔有宗

妻鹿三良五郎重久

荒井喜太郎氏家

村井六左衛門宗長

三木ヨリ加勢

小寺主馬之介

長谷川権太夫

藤田藤次

山腰伊与五郎

中根次良兵衛久吉

中井織部兼光

和氣次郎清則

梶原源兵衛景之

三浦三郎次郎義久

朝木助右衛門時重

芹川三良左衛門憲治

安藤次郎左衛門直躬

吉川伊勢亟家定

小山八郎家久

斯波次郎左衛門次家

備前次郎是久

室田与八郎兼右

吉田喜次郎吉久

柏原次郎右衛門

中村亮岐守

梶原道庵

寛延二己巳年正月仲浣第六日

播磨印南郡天下原明圓寺元祖之本借受

文久四甲子正月晦日

播磨飾東郡飴方津南敷丁

鹿屋小右衛門所持
二男仁三郎寫之

右曾根町大森貫一氏所藏本ニ依リテ謄寫ス

大正六年七月念五日

本書之ヲ播陽萬寶智惠袋第四十六卷所收、同名本ト對照
スルニ大同小異ナリト雖ミ少シク古キが如シ今假ニ異本ト頭書シテ從
來流布本ト區別ス

大正丁巳盛夏

吟風記

21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55

21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55

21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55

国立国会図書館 タイトル『神吉合戦記』 請求記号 210.48-Ka455

ガラス使用